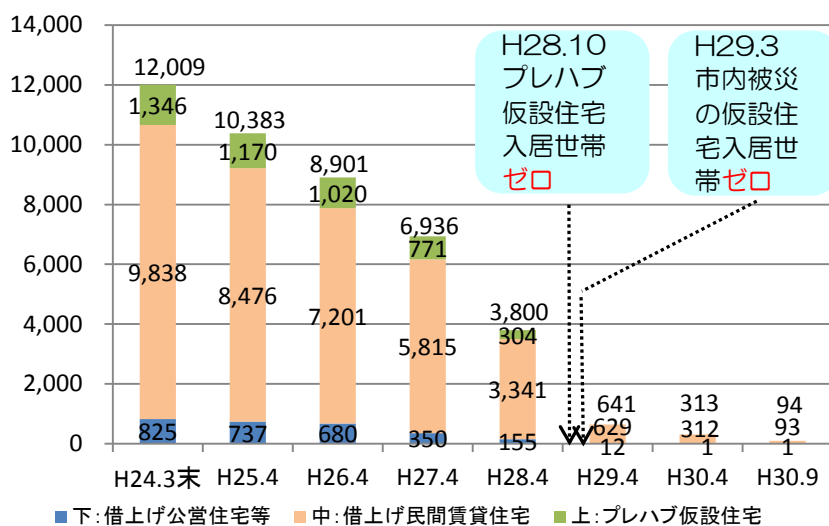




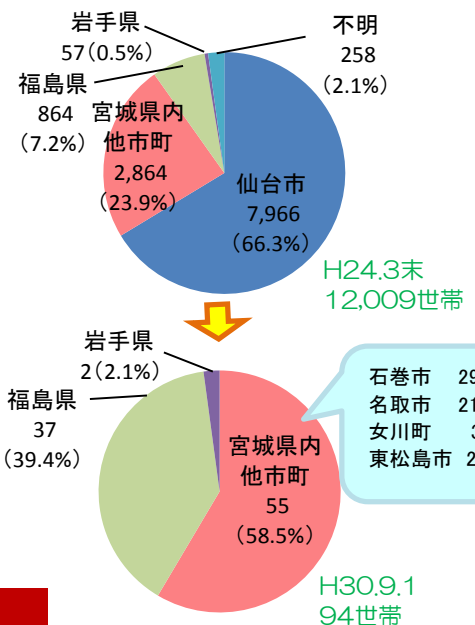
入居世帯の推移と震災時の居住地別入居状況

- ・市内の仮設住宅入居世帯は94世帯となり、ピーク時（平成24年3月末）の0.8%まで減少しています。
- ・市内で被災された世帯は平成29年3月末までに全て再建し、現在仮設住宅には市外で被災された世帯が入居されていますが、再建が着実に進んでおり来年4月時点の入居世帯数は約30世帯となる見通しです。
- ・プレハブ仮設住宅は平成29年3月末までに全て解体され、市内の仮設住宅入居世帯は全て、借上げ民間賃貸住宅等の「みなし仮設住宅」に入居されています。

入居世帯の推移



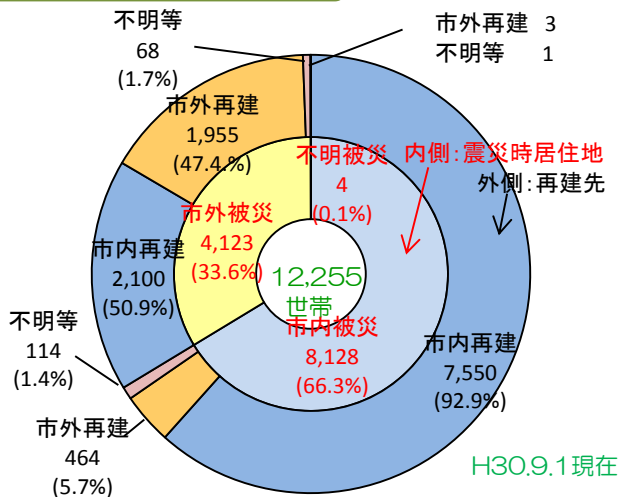
震災時の居住地別入居状況



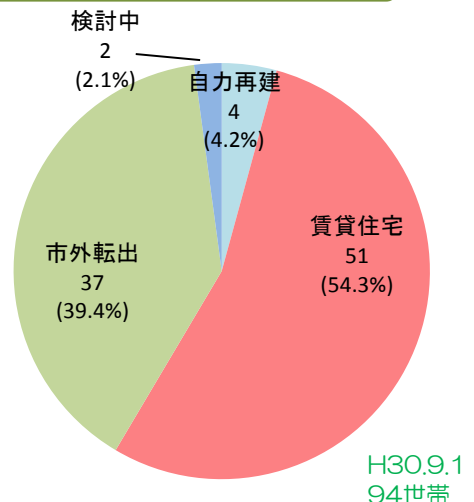
入居世帯の住まいの再建

- ・これまで再建された世帯のうち、約79%の世帯が仙台市内で再建されています。
- ・現在仮設住宅に入居されている世帯のうち、約59%の世帯が仙台市内での再建を希望されています。
- ・平成30年度末までには、特定延長及び福島県被災で避難指示対象となっている世帯を除き、ほとんどの世帯が再建される予定であり、これまで取り組んできた再建支援業務も、ひと区切りとなります。

震災時の居住地別再建状況

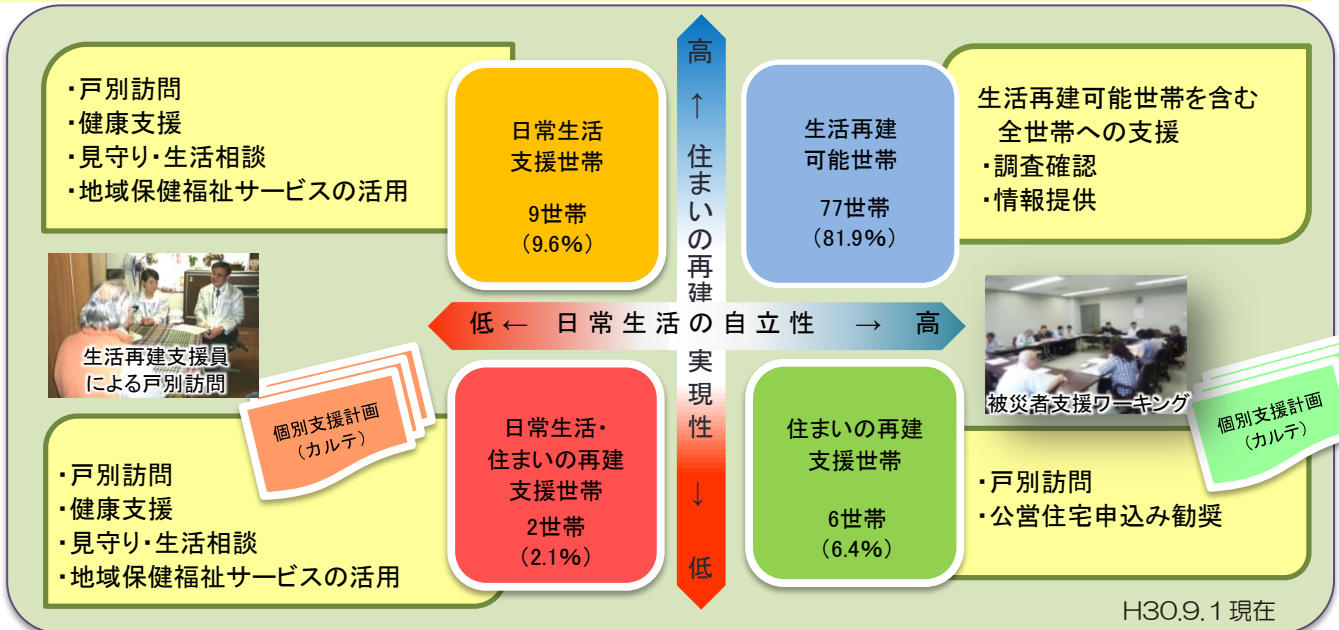


仮設住宅入居世帯の再建方針



入居世帯への支援

新たな生活の場へ供与期間内に確実に移行できるよう、戸別訪問等を通じて課題を抱える世帯に対する移行支援に取り組んでいます。



震災後のこころのケアを続けています

東日本大震災から、約7年半が経過しました。時間の経過や生活環境の変化に伴い、心身にストレスの影響があらわれたり、ささいなことがきっかけとなって、心身の健康状態が良くなったり悪くなったりするのを感じている方は、決して少なくありません。

「はあとぼーと仙台」では、発災直後から、来所や電話での相談をお受けし、また、区役所職員と一緒にご家庭を訪問するなど、被災された皆様のこころのケアを続けています。

慢性的な疲労がある、被災体験が思い出されて苦しい、悲しみや怒りといったさまざまな感情がこみ上げる、もしくは無理に抑え続けている、「11日」が近づくとつらいなど、年月を経て、生活の場が一見安定したように見えても、心身への影響は、新たにあらわれたり、ぶりがえしたりすることがよくあります。

こころの復興には、その人その人のペースがあります。誰もが回復する力を持っていますが、1人でがんばり続けるよりも、誰かが伴走する方がほっとできる場合もあります。

今さらと思わず、今だからこそ、どうぞご相談ください。



仙台市こころの健康づくりキャラクター「こころまる」

はあとライン TEL 022-265-2229
電話相談 平日 10:00～12:00 13:00～16:00

ナイトライン TEL 022-217-2279
電話相談 毎日 18:00～22:00

この記事に関するお問い合わせ先：仙台市精神保健福祉総合センター（はあとぼーと仙台） TEL.022-265-2191

お知らせ

「生活再建レポート」は、本市の生活再建の取組み・進捗状況をお知らせするため、平成28年3月から毎月発行してまいりました。

この間、市内の仮設住宅入居世帯の多くが再建され、来年4月時点の世帯数は約30世帯となる見通しです。来年4月以降に入居されている世帯につきましても、再建方針は概ね見通しが立っております。

このような状況を踏まえ、「生活再建レポート」という形でのお知らせは、今年度をもって終了することとし、9月以降は、11月と2月（最終号）の計2回の発行とさせていただきます。

なお、10月以降の毎月1日時点の市内の仮設住宅入居世帯数等の情報につきましては、引き続き市ホームページ（下記URL）により、毎月中旬頃お知らせしますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

※URL: <https://www.city.sendai.jp/kenko-jigyosuishin/shise/daishinsai/fukko/sekatsu/index.html>